仕様書

この仕様書は、八尾市消防本部が借入れる(以下「消防本部という。」)救急活動用感染防止衣、その他必要事項を明示したものであり、本業務の実施にあたっては、これを忠実に履行しなければならない。

１　事業名称

八尾市消防本部感染防止衣賃貸借

２　借入期間

令和７年７月１日から令和 10 年６月 30 日まで（３年間）

３　借入場所及び数量

（１）借用場所

消防署を含む出張所※借入場所及び各所属救急（別紙１）参照

（２）数量

令和７年７月１日～令和７年９月 30 日 60 名分

令和７年 10 月１日～令和８年３月 31 日 63 名分

令和８年４月１日～令和９年３月 31 日 63 名分

令和９年４月１日～令和 10 年３月 31 日 63 名分

令和 10 年４月１日～令和 10 年６月 30 日 63 名分

救急隊員１名当り	感染防止衣上着	３着
	感染防止衣下着	２着

４　業務内容

消防本部が借入れる救急活動用感染防止衣は、救急隊員（以下「隊員という。」）が救急活動時において着用するものであり、隊員の感染防止及び市民への二次感染予防の観点から、感染防止衣の性能維持のため、損耗状態の把握及び補修、クリーニング等、適切な運用を行い、公務の円滑な推進遂行を図ることを目的とする。

（１）クリーニングにかかる運用について（回収、配達）

ア．受注者は、消防本部の指定する場所に、毎週２回クリーニングのための回収を行い、その際に前回回収した感染防止衣の配達も行う。感染防止衣の受け渡しは、書面にて着数の確認を行うこと。回収、配達の受渡し場所の詳細については消防本部と協議し、回収、配達にかかる必要な備品は受注者がこれを準備する。回収、配達は受注者の下に適切に実施されることとする。

イ．受注者は、配達分の感染防止衣と回収分の感染防止衣が混在しないよう区分して

集配を行うこと。

ウ．受注者は、感染防止衣を回収後ただちに１着ごとポケットを検査し、ポケット内に貴重品、忘れ物があれば、返却袋等を作り、次回配達日に返却すること。

エ．受注者は、感染防止衣に破れ、きず、ほころび等を発見した場合は、その状態に応じて補修または交換を行うこと。また、油性、水性の汚れ、シミは前処理にて除去する等、適切な処理を行うこと。

オ．受注者が回収、配達を行う際は、感染防止衣の破損防止のため、感染防止衣のファスナー及びポケットフラップの面ファスナーは全て閉じて実施されること。

カ．洗濯は、予洗の洗浄時間を 10 分、本洗は 40℃の湯で 20 分とする。また、すすぎを３分ずつ２回行い、３回目に抗菌剤、撥水剤を入れて５分すすぐこと。

キ．乾燥は、60℃の温風で 30 分行う。その後、冷風で５分行うこと。

ク．仕上げは、感染防止衣をハンガーに掛けて、トンネルフィニッシャーで皺を伸ばすこと。また、その状態に応じてアイロンにて補正を行うこととする。

ケ．仕上げの際、感染防止衣のシミ、汚れの有無を確認及びファスナー破損の有無を確認し、不具合があれば、修理、交換を行うこと。

コ．仕上げ後は、１着ごとに透明の包装袋にて包装し、未処理品との接触が無いようにすること。

サ．受注者が配送する際は、個人の識別が容易に出来るようシール等を作成し、透明の包装袋の上に貼り付けて配送すること。また、配送は受注者が行うとともに、消防組合指定場所にて職員立会いの上、感染防止衣の受け渡しをすること。

シ．感染防止衣の受け渡しの段階において、感染防止衣の汚れが落ちていないものについては、再度洗濯を行うものとすること。

（２）メンテナンスに関する品質管理について

ア．受注者は、感染防止衣の単品検査により、汚れ、損耗、破損及び忘れ物の確認を怠りなく実施し、報告の義務を負うこと。

イ．受注者は、洗濯、消毒に関しては、適宜、消防本部の要請に対し、仕様を満たしている報告を行うこと。さらに、必要に応じて使用溶剤の提出を行うこと。

ウ．受注者は、感染防止衣の品質確認を目的に、１カ月毎に洗濯の実績、破損の状況等を必要に応じて報告をすること。

（３）感染防止衣の運用について

ア．受注者は、感染防止衣の管理業務を行うための管理用ラベル（バーコード等）を縫着して、使用状況を適切に管理し、個人別の単品管理を行うこと。

イ．受注者は、クリーニング後の感染防止衣を回収した署所へ配達すること。回収した感染防止衣の衛生面や紛失防止等の履歴を把握するため、個人別クリーニング使用実績、感染防止衣の破損、交換状況を記したデータを適正に管理し、消防本部が必要と認めた時は、消防本部にデータを提出すること。

ウ．隊員の人事異動や退職等が発生した場合、速やかに消防本部から受注者に連絡すること。受注者は消防本部からの連絡に基づき、即座に感染防止衣の補充、回収を行うこと。

なお、人事異動や退職、サイズ変更等で発生した感染防止衣は、検品の後、必要に応じ、補修・クリーニングを実施した上で再利用することが出来る。

エ．受注者は、履行期間中において、感染防止衣サイズの変更が必要になった場合には、消防本部からの連絡に速やかに対応し、補充、回収を行うこと。

オ．受注者は、感染防止衣が破損、損耗した場合、随時、新品もしくは使用可能な感染防止衣と交換しなければならない。

カ．受注者は、各履行場所には予備在庫を保管し、不測の事態が発生した場合においても、救急業務に支障をきたすことのないよう対応すること。

なお、感染防止衣の必要総数は、消防本部との協議により決定することとする。

（4）感染防止衣の管理方法について

ア．受注者は、感染防止衣の品質（衛生、清潔、安全）を確保するために、感染防止衣の定期的な単品検査とクリーニングを行うこと。

また、業務上発生した破損、汚れは適宜対応し、欠品が起きないように維持、管理すること。

イ．着用中の感染防止衣、あるいは消防本部隊員保管の感染防止衣の管理、保管の責任は消防本部にあることとするが、回収した感染防止衣とクリーニング預かりの感染防止衣については、受注者に管理、保管の責任があることとする。

ウ．受注者は、感染防止衣を廃棄する場合については、消防組本部当者に廃棄する旨を連絡し、指示を受けた後、適切に廃棄すること。

（5）その他

ア．感染防止衣の初回納品に関しては、準備期間として契約開始日から猶予期間を与えるものとする。なお請求に関しては納品完了の翌月から発生するものとする。

イ．感染防止衣の上記以外の問題で疑義が生じた場合は、ただちに消防本部と協議し、解決すること。

別紙１

借入場所及び各所属救急隊

	救急隊	住　　所	電話番号
1	本署	八尾市高美町５丁目３番４号	072－992－0119
2	山本出張所	八尾市西山本町３丁目６番１８号	072－923－0119
3	志紀出張所	八尾市志紀西町２丁目１番地の３	072－949－0424
4	栄町出張所	八尾市栄町２丁目３番１０号	072－924－0119
5	高安出張所	八尾市千塚２丁目１９１番地	072－941－5266
6	亀井出張所	八尾市亀井町２丁目７番７号	072－923－1190

感染防止衣仕様書

この仕様書は、八尾市消防本部（以下「消防本部」という。）が借入れる救急活動用感染防止衣の作成条件について規定したものであり、デザイン・生地・材料について厳格に尊守し履行すること。

１　感染防止衣＜上衣＞と＜パンツ＞縫製仕様について（別図１～２参照）

Ａ．上衣　総則

前中央開き長袖ラグランジャンパー型の上着とする。前身頃と後身頃、並びに両腕には反射材を縫着し、消防本部の指定する標識（文字入りプリント生地）を指定の箇所（右胸と背中）に縫い付けることとする。

（１）サイズ

感染防止衣のサイズは、＜Ｓ、Ｍ、Ｌ、ＬＬ、３Ｌ、４Ｌ＞の６種類とする。（別図３－１参照）

（２）形式

２色使いとし、前身頃、後身頃とも、切り返しの上部を濃色（Ｂ色）、下部を薄い色（Ａ色）使いのデザインとする。襟は１枚襟とし、前開きファスナー仕様の前立て付きとする。袖はラグラン型で、上袖下袖切り返しの２色使いとする。前身頃には左に胸ポケット、両脇にはマチ付き（Ｂ色）のアウトポケットを付ける。背ヨークその他指定の箇所には規定の反射材を縫い付ける。裾は全体に帯式とし、後身頃にはゴムを入れたシャーリング仕立てとする。

（３）縫製状態

ア．各部の縫合は、ミシンの目飛び及び縫いはずれの無いよう、優良に仕上げること。

イ．縫い代は、各部分に適した量を充分にとること。

ウ．糸調子を優良に合わせ、パッカリング、縫い曲がりを防止すること。

エ．縫い始め、縫い終わりには返し針を施すこと。

オ．地の目を通し、各パーツの縫い合わせにずれが無いように注意すること。

（４）縫製各部

ア．衿（Ａ色）

後襟中心の部位で幅は６㎝とし、全体に６㎜のステッチを付ける。ファスナー止まりの上端部は面ファスナー止めとする。衿の表裏には指定の接着芯を貼り、中には指定のフラシ芯を入れること。

イ．前たて（Ｂ色）

指定の芯を張り、左右両端に指定のパイピングを縫い込む。前たて幅は５．５㎝とし６㎜のステッチをかける。上端は面ファスナー止めとし、下端にかけて、所定の位置に同様の面ファスナーを縫い付けること。

ウ．上前身頃（２色使い）（別図１－１参照）

上前身頃には指定の反射材を縫い付け、袖付け部分は指定のパイピング仕立てとする。胸の部分にマチ付き（Ｂ色）の天蓋付きアウトポケットと胸ループ（無線機装着）を縫いつける。但し、ペン指し口には滑り止めテープを縫い付ける。脇にも同じく、マチ付き（Ｂ色）の天蓋付きアウトポケットを縫い付ける。ポケット各部の寸法は別図２参照。内側の左脇縫い合わせ部分、指定の位置に「品質表示片布」並びに「ＳＥＫ赤マーク」を縫い付けること。

エ．下前身頃（２色使い）

上前身頃に合わせて指定の反射材を縫い付け、袖付け部分は、指定のパイピング仕立てとする。Ｂ色胸の指定の位置には「八尾市消防本部」小のワッペンを縫い付ける（別図１－１参照）。脇には、上前身頃と同じ脇ポケットを縫い付けること。ポケット各部寸法は別図２参照。

オ．上袖（Ｂ色）下袖（Ａ色）

２枚袖のラグラン型で、上袖はＢ色、下袖はＡ色の配色使いとする。左袖の上袖部分にはＢ色のペン指しを付け、口には滑り止めテープを縫い付ける（別図２参照）。指定の反射布を上袖部分に縫い付ける。袖口には平ゴムを入れて、中央をミシンでたたくこと。

カ．背ヨーク（Ｂ色）

背ヨークは１枚裁ちとし、背中央切り返しの部分には規定の反射材を縫い付ける（別図１－１参照）。また、指定の位置には「八尾市消防本部」大のワッペンを縫い付ける（別図１－１参照）。内側の襟の下、中央部分にはバーコードとサイズ片布を縫い付けること。インナーベスト止めのゴムループを適所に縫着する。

キ．後身頃全体（２色使い）

濃紺（Ｂ色）と薄ブルー（Ａ色）の２色使いとする。左右袖付け部分は、指定のパイピング使いとする。裾（Ｂ色）は５ｃｍ幅のシャーリング付きベルトを縫着する。（別図１－１参照）

ク．見返し（Ａ色）

前身頃左右に指定の芯地を張った身返しをつける。

（５）その他

感染防止衣の上記以外の問題で疑義が生じた場合は、ただちに消防本部と協議し、解決すること。

（６）標識（ワッペン）

感染防止衣と同じ素材（撥水加工無し）を使用し、右胸に「八尾市消防本部」の文字を２段にしてプリント小ワッペン、背中にも「八尾市消防本部」の文字を２段にして、プリント大ワッペンを指定の位置に縫い付けること。なお、標識のデザイン、寸法、縫い付け位置、仕立て方法は別図４－１、４－２の制作方法とする。

Ｂ．パンツ　総則

上衣と同色のＢ色単色使いのパンツとする。両脇にはファスナー付きの手の差込口を設け、膝当てを縫い付ける。反射テープと反射パイピングテープを使用し、ウエスト並びに裾口は総ゴム仕立てとする。

（１） サイズ

感染防止衣サイズは＜Ｓ、Ｍ、Ｌ、ＬＬ、３Ｌ、４Ｌ、５Ｌ＞の７種類とする。（別図３－２参照）

（２）形式

ウエストは総ゴム仕立てのパンツとする。色は感染防止衣上着に使用している濃紺と同色とし、両脇線には反射パイピングテープを挟み込む。両脇には、袋布無しのファスナー開きポケットを作る。裾口両方指定の位置に３ｃｍ幅の反射テープを１周縫い付け、裾口は総ゴム仕立てとする。膝には膝当てを縫い付ける。

（３）縫製状態

ア　各部の縫合は、ミシンの目飛び及び縫いはずれの無いよう、優良に仕上げること。

イ　縫い代は、各部分に適した量を充分にとること。

ウ　糸調子を優良に合わせ、パッカリング、縫い曲がりを防止すること。

エ　縫い始め、縫い終わりには返し針を施すこと。

オ　地の目を通し、各パーツの縫い合わせにずれが無いように注意すること。

（４）縫製各部

ア　ウエスト

３ｃｍ幅の平ゴムを入れ、総ゴム仕立てとする。中央にはゴム押さえステッチを１本入れる。

イ　両脇線縫い

腰部の両脇には、口幅１９ｃｍ開きのファスナーを縫い付け、ファスナーの下部から裾口まで反射パイピングテープを挟み込む。

ウ　身頃

左前身頃の表、指定の部分（別図１－２参照）にバーコードとサイズネームを縫い付ける。裏側には、品質表示とＳＥＫ赤マークを縫い付ける。左右の膝部分には、共生地の膝当てを縫い付け下部には３ｃｍ幅の反射テープを１周縫着する。

エ　裾口

左右共に、１．５ｃｍ幅の平ゴムを使用して総ゴム仕立てとする

（５）その他

感染防止衣の上記以外の問題で疑義が生じた場合は、ただちに消防本部と協議し、解決すること。

２　感染防止衣材料規格

（１）　　表生地規格

項　目	規　格		検査方法
色　相	2 色使い＜薄ﾌﾞﾙｰB 色・濃ﾌﾞﾙｰA 色＞		
組　織	平織（二重織）		
品　質	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 100％ （白色導電性繊維 1cm 間隔含）		
生　機　幅	150cm 以上		JIS L 1096 A 法片耳落とし
仕上がり密度	ﾀﾃ	148 本/in 以上	JIS L 1096 A 法
	ﾖｺ	123 本/in 以上	JIS L 1096 A 法
繊　度	ﾀﾃ	84Dtex / 110Dtex （導電糸 22Dtex）	
	ﾖｺ	84Dtex / 110Dtex	
重　量		125±10g/㎡	JIS L 1096 A 法
染色堅牢度	洗濯汚染	濃色　3-4 級　淡色 4 級	JIS L 0844 A-2 法
	乾摩擦 湿摩擦	乾濃色 3-4 級　淡色 4 級 湿濃色 3 級　　淡色 4 級	JIS L 0849 学振型
	汗(酸・ｱﾙｶﾘ)	濃色　3-4 級　淡色 4 級	JIS L 0848
引裂強力	ﾀﾃ･ﾖｺ	45N 以上/45N 以上	JIS L 1096 D 法
縫目滑脱	ﾀﾃ･ﾖｺ	3mm 以下/3mm 以下	JIS L 1096 B 法 117.7N
通 気 度		100cc/c ㎡･s 以上	JIS L 1096 A 法
撥 水 度	初期	4 以上	JIS L 1092 ｽﾌﾟﾚｰ法
	50 回洗濯後	3 以上	JIS L 1092 ｽﾌﾟﾚｰ法 洗濯処理は JIS L 0217 洗い方番号 103、吊り干し
制菌加工		「SEK 赤」取得　特定用途	SEK 特定用途

（２） 反射布規格

項 目	規　格	検査報告
品　名	UE-LITE	
品　番	UE6610	
色　相	ｼﾙﾊﾞｰ（再帰性反射材）	
組　織	平織（ｵｯｸｽﾌｫｰﾄﾞ）	
品　質	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ/綿（65％/35％）	
耐久試験項目		
洗 濯 性	洗濯後　　250cd/lux/㎡以上	JIS L1930 5回
ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ後　100cd/lux/㎡以上	JIS T1931-3 5回
低温曲げ	低温曲げ試験後　100cd/lux/㎡以上	JIS K6404-3 11.2 A法 -20±2℃4時間
温度変化耐性	温度変化耐性試験後100cd/lux/㎡以上	JIS T8127 50℃±2℃12時間 -30℃±2℃20時間

摩　擦	摩擦試験後　　100cd/lux/㎡以上	JIS L1096 8.19.5 E法 5,000回
屈　曲	屈曲試験後　　100cd/lux/㎡以上	ISO7854：1995 A法/7,500回
反射性能 （反射輝度）	初期反射性能 入射角　　cd/lux/㎡ 5°　　380cd/lux/㎡ 20°　　340cd/lux/㎡ 30°　　300cd/lux/㎡ 40°　　240cd/lux/㎡	JIS Z9117（12′ / 5°） 測定方法 EN ISO 20471

（３）標識（別図４―１、４－２参照）

感染防止衣材料規格（１）表生地に準じる。

なお、標識にかかる芯地については、次のとおり。

芯地-１（接着芯）

品名・規格	接着芯　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ100％
	3GF35

芯地-２（フラシ芯）

品名・規格	ﾋｰﾄﾊｲﾎﾞﾝ（不織布）　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 80％　ﾋﾞﾆﾛﾝ 20％
品　番	2870P

（４）その他の副資材の材料

項　目	品　番	規　格
襟 芯 地	3GF35　ｶﾗｰ Y	122 ㎝幅
襟ﾌﾗｼ芯地	S2000	ｻｲｽﾞに合わせる
ﾌﾛﾝﾄﾌｧｽﾅｰ	5CNF-OR-DA８LH/E　C/#920	ｻｲｽﾞに合わせる
ｷﾞｬｻﾞｰｺﾞﾑ	16000 白ｵﾍﾟﾛﾝ	45㎜ 幅
その他、品質表示・ｻｲｽﾞﾈｰﾑ・ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ、SEK 赤ﾏｰｸ		

３　提出書類について＜消防本部の必要に応じて、以下の書類の提出に応じる事＞

（１）証明書の提出

ア　感染防止衣表生地製造メーカーからの「品質並びに出荷済証明書」

イ　使用する洗濯工場の案内書

ウ　指定する付属手配メーカーの「品質並びに出荷済証明書」

（２）工程表の提出

契約締結後における各種資料

ア．工程表（検査予定日を明記すること）

イ．縫製工場の概要書（工場名、所在地及び事業報告書など）

なお、消防本部の要求がある場合は、中間検査を随時受け入れること。

（３） 材料見本等の提出

契約締結後は、必要に応じて本仕様書に適合する材料の一式をサンプルとして提出する。

（４）その他

仕様並びに納入に関して疑義の有る場合は、消防本部に必ず確認し、了承を得ること。

４　その他

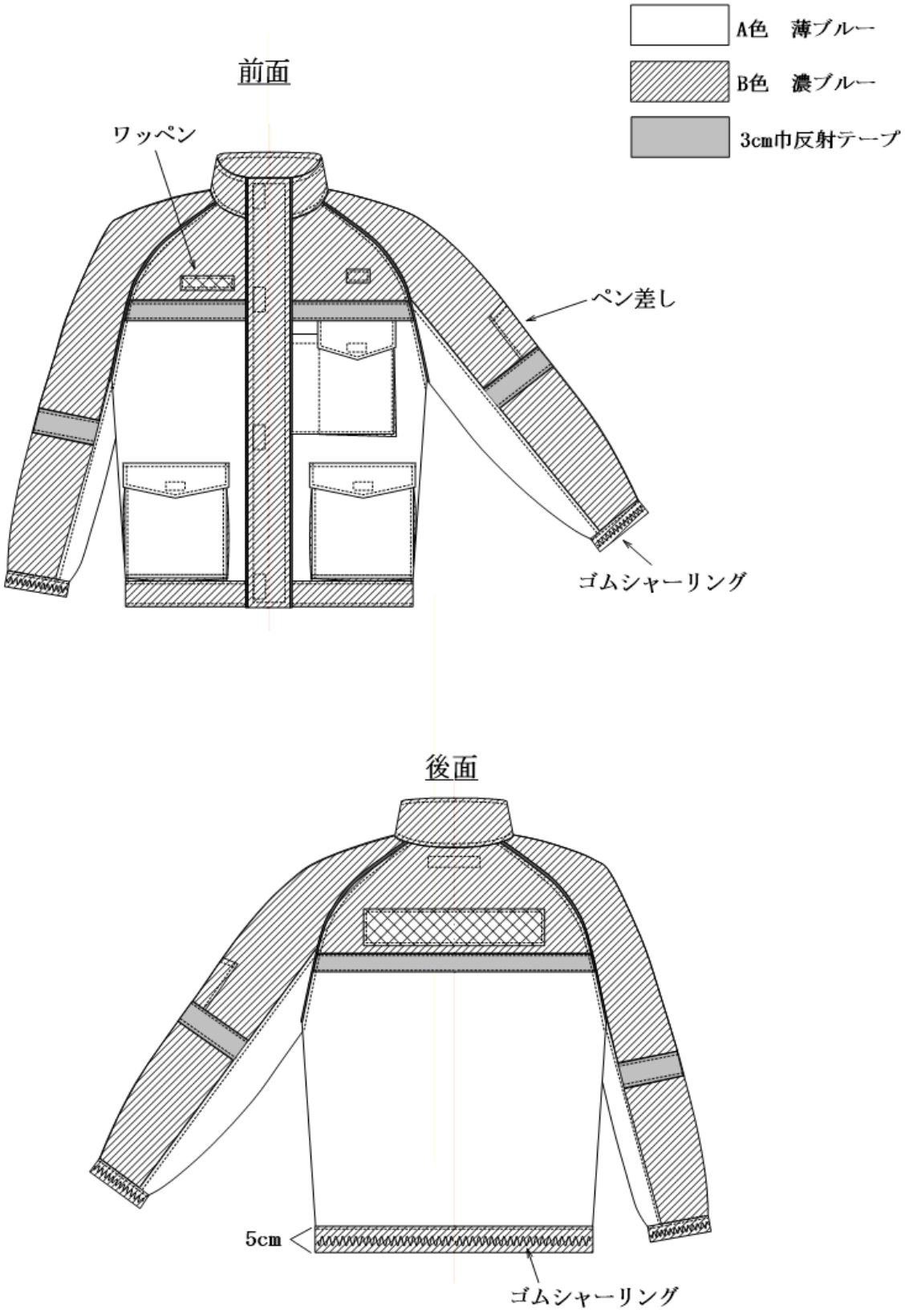
（１） 契約にあたっては、本仕様書を十分に検討し疑義のある場合は、質問期間内に指定の方法により質問し、その内容を熟知のうえ契約すること。

なお、契約後における仕様書上の疑義は消防本部の解釈によるものとする。

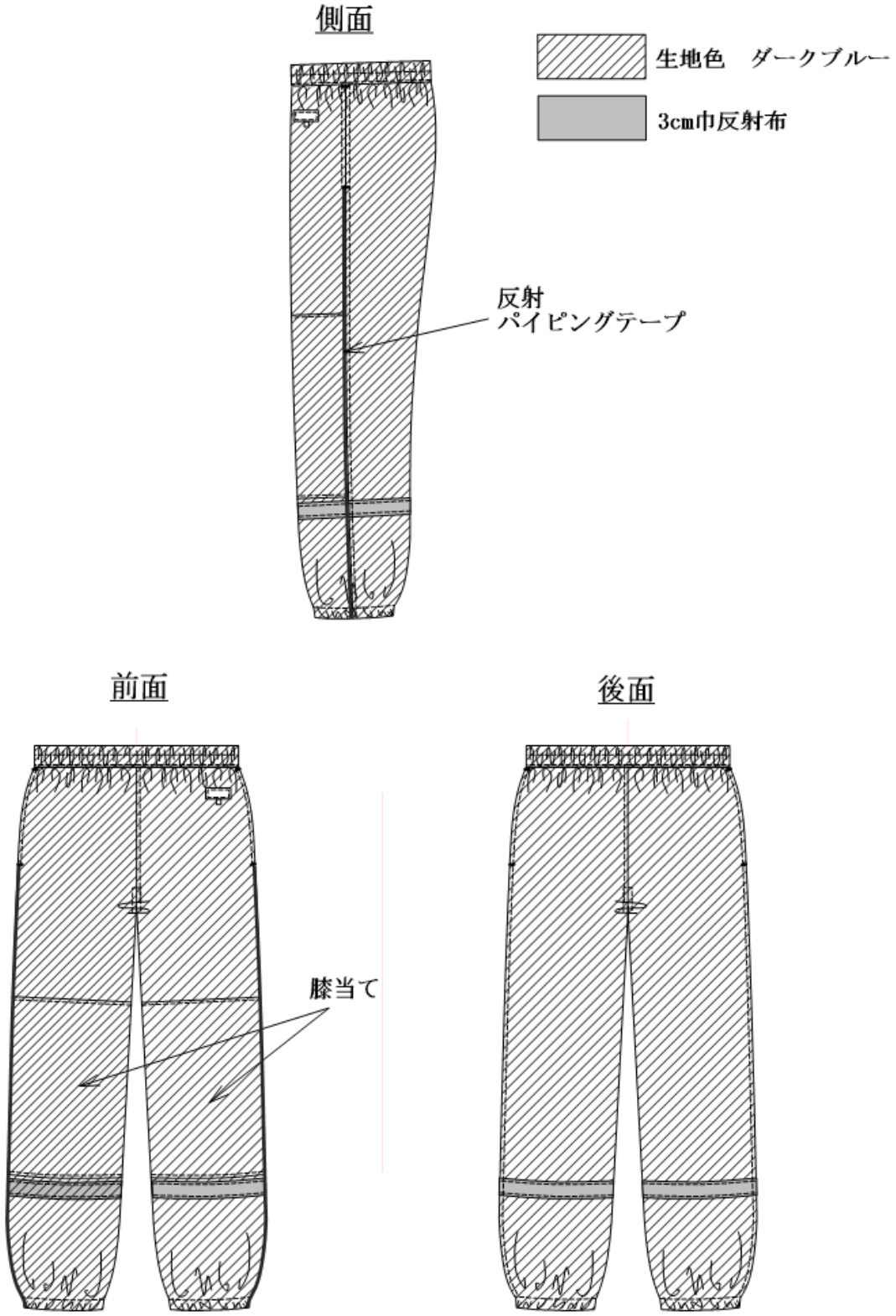
（２） 消防本部の責に帰すべき事由により受注者所有物品の全部または一部を滅失またはき損したときは、当該滅失またはき損による物品の損害額に相当する金額を損害賠償として、受注者に支払わなければならない。ただし、消防本部が物品を原状に回復したときは、この限りではない。

（３） 受注者の責に帰すべき事由により消防本部所有物品の全部または一部を滅失またはき損したときは、当該滅失またはき損による物品の損害額に相当する金額を損害賠償として、消防本部に支払わなければならない。ただし、受注者が物品を原状に回復したときは、この限りではない。

別図１－１

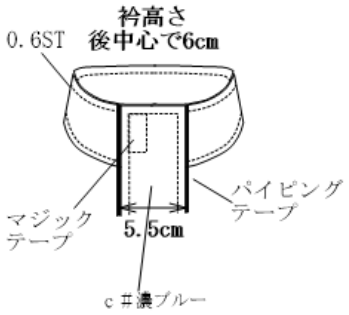

A色　薄ブルー
B色　濃ブルー
3cm巾反射テープ
前面
ワッペン
ペン差し
ゴムシャーリング
後面
5cm
ゴムシャーリング

別図1-2

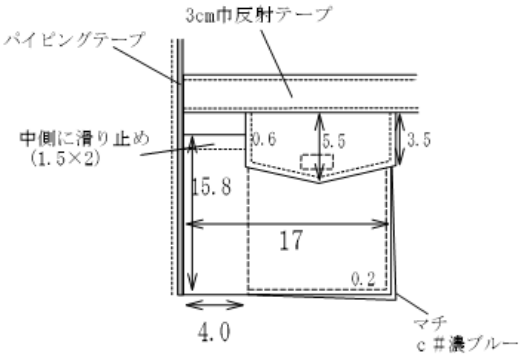


別図2-1

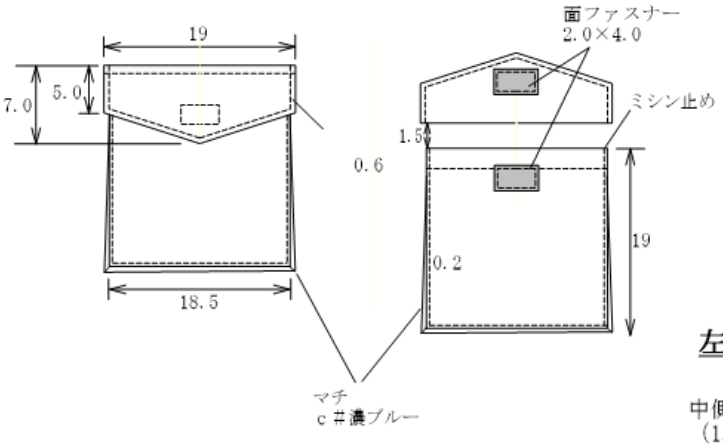
衿



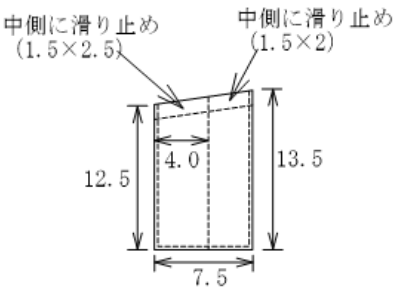
左胸ポケット



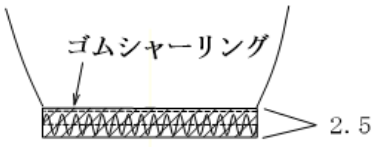
脇ポケット



左袖ペン差しポケット



袖口カフス



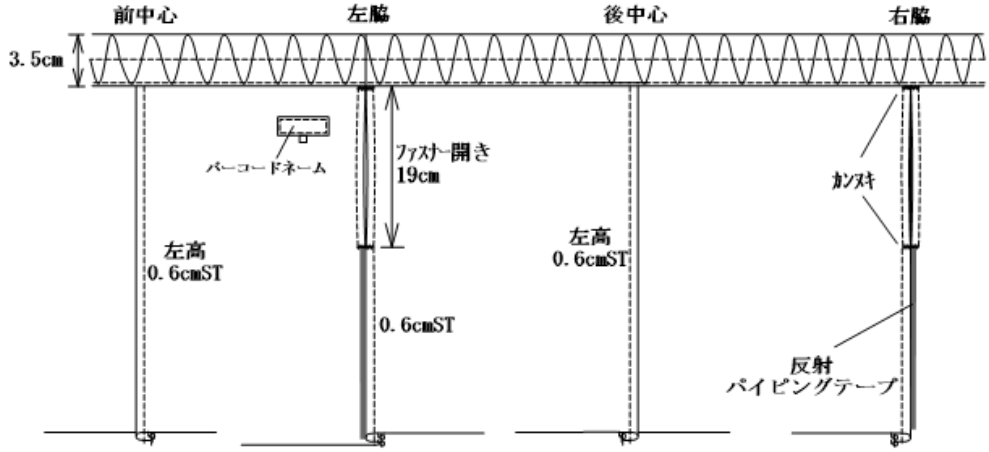
L寸法の場合22cm上がり

(C/#薄ブルー) 箇所
後身頃下側
前身頃下側
見返し
胸ポケット
脇ポケット
前袖
後袖

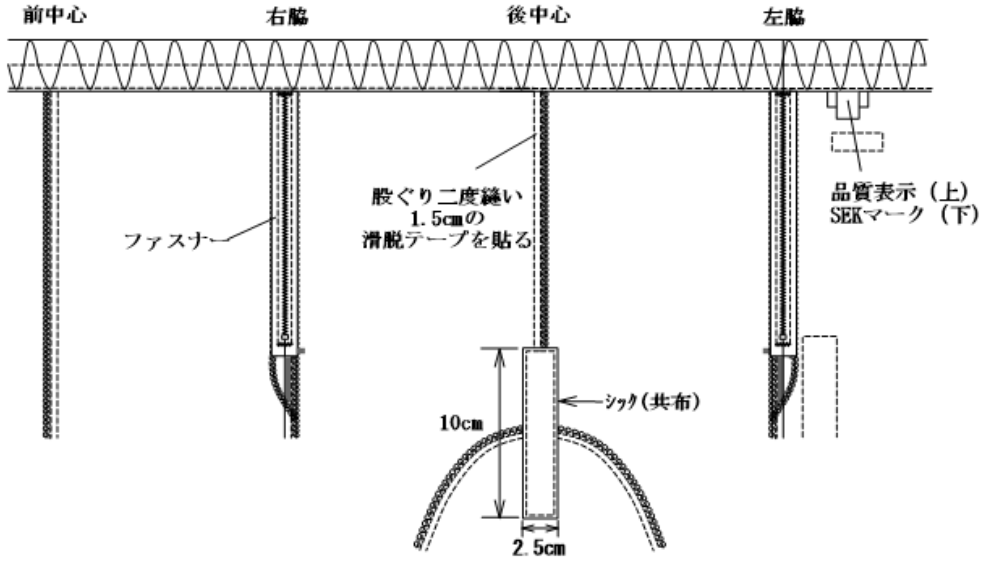
(C/#濃ブルー) 箇所
衿（表、裏）
前パネル（表、裏）
前・後ヨーク
胸ポケットマチ
脇ポケットマチ
中袖
カフス
裾ベルト

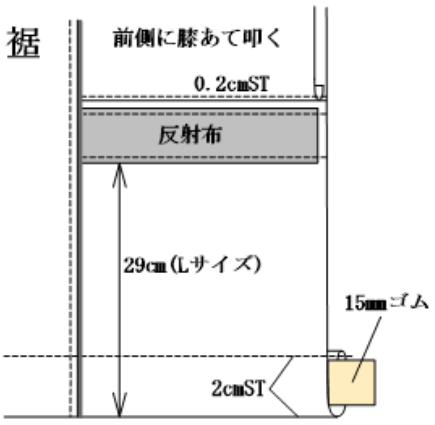
別図2-2

表側


前中心
左脇
後中心
右脇
3.5cm
バーコードネーム
ファスナー開き
19cm
カンヌキ
左高
0.6cmST
左高
0.6cmST
0.6cmST
反射
パイピングテープ

裏側


前中心
右脇
後中心
左脇
股ぐり二度縫い
1.5cmの
滑脱テープを貼る
ファスナー
品質表示（上）
SEKマーク（下）
10cm
シック（共布）
2.5cm


裾
前側に膝あて叩く
0.2cmST
反射布
29cm(Lサイズ)
15mmゴム
2cmST

別図３－１

感染防止衣＜上衣＞サイズ規格表

仕上がり寸法；単位 cm

	着丈	バスト	肩幅（参考）	袖丈（参考）	裄丈
S	66	115	51.5	58	84.5
M	68	121	53.7	59	86.5
L	70	127	55.8	61	89.5
LL	72	133	58	62	91.5
3L	74	139	60.1	63	93.5
4L	76	145	62.3	63	94.5

別図３―２

感染防止衣＜パンツ＞サイズ規格表

仕上がり寸法；単位 cm

	胴囲	総丈	股下	裾幅
S	62～98	103	73	34～39
M	67～103	106	75	34～39
L	72～108	109	77	35～40
LL	77～113	112	79	35～40
3L	84～120	115	81	36～41
4L	91～127	116	81	36～41
5L	98～134	118	82	37～42

※胴囲並びに裾幅は、総ゴム仕立てであり許容量は、７％とする。

別図４－１

八尾市消防本部プリントワッペン

この仕様書は、八尾市消防本部が採用する、令和７年度救急活動用防止衣上衣（以下「感染防止衣上衣」という。）に使用するワッペンの製作並びに縫い付けについてその諸条件を定めたものである。

１　形式

右胸用に「八尾市消防本部」の文字、背中用にも同デザインの「八尾市消防本部」の文字をプリントした生地に芯地を貼り、中にフラシ芯を入れて、縫いはずれ、縫い曲がりの無いように指定の位置に縫い付けること。

なお、デザイン、寸法及び縫い付け箇所は別図４－２下部の通りとする。

２　素材・材料

表生地

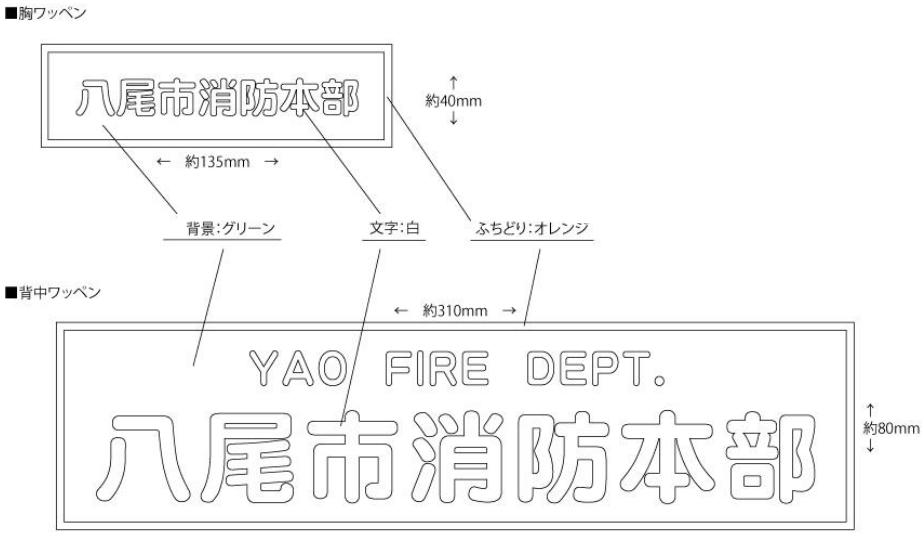
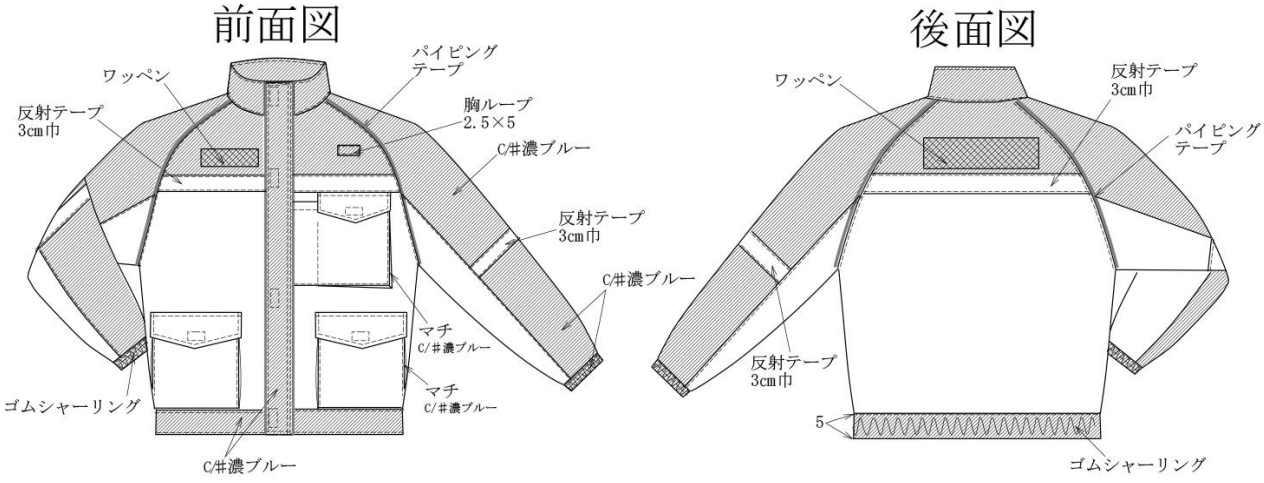
項　目	規　格	検査方法
組　織	平織り	
品　質	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ　100％（導電糸含む）	
仕上がり密度	ﾀﾃ 148 本／in 以上　ﾖｺ 123 本／in 以上	JIS L 1096　A 法
繊　度	ﾀﾃ･ﾖｺ共　84Dtex /110Dtex	
重　量	125±10　g /㎡	JIS L 1096　A 法
通 気 度	100cc / c ㎡・s 以上	JIS L 1096　B 法 117.7N
制菌加工	SEK 赤　特定用途合格ﾚﾍﾞﾙ	SEK 特定用途

芯地-１（接着芯）

品名・規格	接着芯　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 100％
品番	3ＧＦ35

芯地-２（フラシ芯）

品名・規格	ﾋｰﾄﾊｲﾎﾞﾝ（不織布）　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 80％　ﾋﾞﾆﾛﾝ 20％
品番	2870P

別図４－２

八尾市消防本部様のワッペンデザイン画像